JAAF
CHIBA

千葉陸協だより

発行：千葉陸上競技協会総務委員会広報部　　2025 年 5 月吉日発行

第 24 号

新年度を迎え新たなステージへ

会　長　宇野　　裕

新年度を迎え千葉県陸上競技記録会を皮切りに、例年どおり多くの競技会が開催されております。一般財団法人千葉陸上競技協会所属の競技者及び役員・理事はじめ関係者の皆様には、日頃より本協会の活動にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。本年度もよろしく協会運営にご協力くださるようお願いいたします。

昨年度本協会では「関東陸上競技選手権大会」と「ちばアクアラインマラソン２０２４」の大規模競技会２大会を主管陸協として運営し、いずれも成功裏に終了することができました。関東陸上競技選手権大会は一昨年の春から実行委員会を立ち上げ、周到に準備を進めてまいりました。昨年は特に暑い夏となり、大会期間中も急な天候の変化や熱中症の心配など細心の注意を払いながらの運営となりましたが、真夏の暑さに負けずに選手の皆さんの熱い戦いが繰り広げられました。大会を支えていただいた審判員役員の皆様には心から感謝申し上げます。また、ちばアクアラインマラソン２０２４も前年度から準備を進め、11 月 10 日（日）天候曇り気温１６℃という絶好のコンディションの中で開催されました。本協会は主管陸協としてコース管理や審判業務などに関わりましたが、多くのマラソン愛好者の方にレースを楽しんでいただき、主催者である千葉県に十分に貢献できたものと考えております。

さて、昨年９月から進められておりました千葉県総合スポーツセンター陸上競技場の改修工事が完了し、トラック及びフィールドの全天候舗装が新しくなりました。更新にあたりマーキングは WA（世界陸連）仕様となり、今後大規模大会の誘致も可能となります。次は大型映像装置ですが、こちらも設置に向け調査予算が組まれるなど近い将来に実現する見込みです。強化普及とともに環境整備は重要な課題です。夜間照明装置の設置の要望など、よりよい陸上競技場の整備に向け関係機関に働きかけていきたいと思います。

本年度は世界陸上東京大会が９月に国立競技場で開催されます。千葉県ゆかりの選手の活躍を期待するとともに、今後世界を目指す多くの選手が千葉県からも育つことを祈っております。また世界陸上大会にはブロンズレフェリーの資格を持つ審判員が本県からも派遣されます。世界を担う審判員として活躍されることを願っております。

また、本年は本協会役員改選年度となっております。新たに役員に就任される方のご活躍を期待するとともに、定年等によりご勇退される役員の皆様には長年のご尽力に心から感謝いたします。その中でも岩本副会長、高津副会長のお二人もご勇退となります。岩本副会長は国民体育大会監督（現国民スポーツ大会）など強化の分野で大きなご功績があり、高津副会長は本協会及び県都千葉市陸上競技協会の発展に長きにわたり貢献なさいました。お二人の今後のご活躍をお祈りするとともに、今後も本協会をご支援いただきたく思います。

新年度には新たな目標、新たな夢をもって臨みたいものです。本協会も新たなステージへさらに進んでまいりたいと思います。本協会の皆様には千葉県の陸上競技発展に向け引き続きご支援ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

陸上部紹介

「我孫子市立我孫子中学校」

本校は、歴史的文豪が後世に数多く住まいを構えた、北の鎌倉と称される我孫子市に位置する創立７８年の学校です。駅伝部は、男女合わせて４１名で活動しています。また、毎年自分たちで決めた目標達成のため､『みんなで強くなろう』と日々努力を重ねています。部員の中には､サッカーや野球のクラブチームに所属し、練習との両立を図っている生徒もいます。我孫子市は、特に駅伝に対する関心が高いため、生徒たちは学校関係者をはじめ地域の方からも直接声をかけていただくなど、多くの方々から支えられて練習に励むことができています。だからこそ、選手も顧問も人一倍『ありがとう』の言葉を大切にし、素直に感謝を伝えられる人間でありたいと考えています。

令和６年度は、東葛飾駅伝大会で連覇を果たし、県駅伝大会優勝、関東駅伝大会３位、全国駅伝大会で準優勝を果たすことができました。特に全国駅伝では、体調不良で主力が２人も欠けてしまった中、最大の目標であった『全国制覇』はできませんでしたが、感動の結果となりました。また、どんな苦境に立たされても絶対に諦めてはいけないことを改めて教えられた瞬間でした。今後も、日々コツコツと努力を重ねていきたいと思います。

「千葉県立成東高等学校」

本校は明治３３年に創立され、今年度で創立１２５年を迎えた県内でも歴史のある高校です。卒業生も各方面で活躍をしています。「水か空かの海近く」と校歌に歌われるように九十九里平野を一望できる場所にあります。「質実剛健」「文武両道」を校訓とし、生徒は勉学や部活動、学校行事に全力で取り組んでいます。

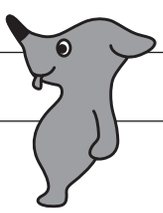
陸上競技部は現在３６名が所属しており、日々練習に励んでいます。勉学との両立を考え練習は平日２時間、休日は３時間程度と決して長くはありません。ただ、県立学校で唯一の１周３００ｍの全天候型トラックを備え、トレーニング効果が高く、練習時間が長く取れないことは身体への負担の大きい全天候型トラックでも怪我のリスクが下げられるという一面もあります。そのため３年間で自己記録や成績を大幅に更新する部員が多数です。限られた環境と時間をいかに有効に使うかという工夫は部活動の活動意義にもつながり、生徒の人間的な成長の一助ともなっています。

陸上部の主な成績は令和６年度福岡インターハイ、男子ハンマー投げで準優勝、同種目で過去

には３位、８位、９位の成績を残しています。近年は投擲種目を中心に４年連続でインターハイ出場、Ｕ１８、Ｕ２０大会でも入賞を果たしています。総体、新人を含め関東大会は 20 年以上連続で出場を続けていますが、より高みを目指して日々活動しています。昨年度の県高校新人も過去最多の入賞を果たし、２０２５年の総体に向けてチーム一丸となって取り組んでいます。今後も応援される個人やチームを目指し、部員、顧問一同努力して参ります。

※部活動紹介コーナーに登場してくれる部活動を募集しています。我こそはと思う部活動の方は千葉陸協までご連絡ください。

団体紹介　ひかりAC



千葉県 PR マスコットキャラクター チーバくん
千葉県許諾第 A287-14 号

ひかり AC は、平成 15 年４月に創設したチームで、アスリート、元アスリート、パラアスリートたちが所属する異色のチームです(２０２４年度１３名所属)。練習は、成田高校の多大なる理解の下、同校のグランドで行っています。アスリートたちは東日本実業団、千葉県選手権、クラブ対抗などの大会に出場しています。

元アスリートたちの経歴はすさまじく、世界選手権の元日本代表、アジア大会の元日本代表、国体出場１０回、インターハイで多種目優勝等々輝かしいものばかりです。現在は競技からは離れ、後進の指導や競技役員に励んでいます。

また、パラアスリートたちは知的障害を抱えながらもアジアパラ（２０１８ジャカルタ）の日本代表となり男子１５００ｍで４位となったもの、全国障害者スポーツ大会（通称パラ国スポ）の千葉県代表に７度選ばれたもの等多士済々です。

千葉陸上競技協会の皆様からは、パラアスリートたちには障害があるにも関わらず、常に温かく接していただいています。千葉県記録会（４月）や千葉マスターズ選手権（４月）、千葉県クラブ対抗陸上競技大会（７月）等の折には、健常者の皆様と同等に扱っていただき、毎回気持ち良く競技ができ、チーム一同とても感謝しております。

ひかり AC は障がいのある方もない方も、競技力のある方もない方も、さらには現役であってもなくても一緒になって生涯にわたって陸上競技を楽しむチームです。

記録室 国際大会入賞者・国内大会優勝者・駅伝結果

第３２回全国中学校駅伝大会 (R6.12.15　滋賀)

男子　６区間

我孫子市立我孫子中学校　２位			57.51
１区	吉川　櫂永	⑳	9.31
２区	唐木　陽大	⑯	9.41
３区	渡部　航晟	③	9.32
４区	西田　聖哉	②	9.41
５区	田口　聖真	④	9.52
６区	五社　泰至	⑥	9.34

女子　５区間

香取市立小見川中学校　19 位			44.15
１区	向後　彩穂	㉝	11.03
２区	平田　彩夏	㉙	7.25
３区	川添　真菜	⑫	7.25
４区	諏訪　仁美	㉕	7.43
５区	鈴木ふたば	⑤	10.39

全国高等学校駅伝競走大会 (R6.12.22　京都)

男子第７５回　７区間

八千代松陰高等学校		４位	2.03.49
１区	鈴木　琉胤	①	28.43
２区	上杉　敦史	⑥	8.07
３区	桶田　悠生	⑦	24.24
４区	松村　達也	⑩	23.50
５区	松本　大輝	⑨	8.55
６区	神邑　亮佑	⑪	14.54
７区	柳澤　碧泉	⑯	14.56
西武台千葉高等学校（南関東）		17 位	2.06.22
１区	阿部　宥人	⑧	29.27
２区	亀山　寿人	㉑	8.20
３区	山脇　一徹	㉓	25.11
４区	内田　温規	⑤	23.36
５区	與儀　敏也	㊶	9.40
６区	野田　修人	⑮	14.59
７区	神田　晴貴	㉘	15.09

女子第３６回　５区間

市立船橋高等学校		13 位	1.10.34
１区	石川　舞桜	㉖	20.34
２区	野口　柚來	⑭	13.30
３区	天羽　海乃	㉓	10.21
４区	藤重　桃子	⑫	9.34
５区	横山　桃花	⑯	16.35
成田高等学校（南関東）		28 位	1.11.35
１区	今西　紗世	⑰	20.12
２区	村上　美優	④	13.08
３区	高橋　真代	㊹	10.45
４区	金森　由衣	㊱	10.11
５区	今井　悠月	㊱	17.19

第４３回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 (R7.1.12　京都)　９区間

千葉県　４位入賞			2.17.57
１区	田浦英理歌	①	19.17
２区	村上　美優	⑰	13.04
３区	小森　心結	㉞	10.20
４区	鷲見　梓沙	⑤	13.04
５区	本澤　美桜	⑮	13.34
６区	今西　紗世	③	12.58
７区	石川　舞桜	⑤	13.03
８区	白鳥　光姫	㉖	10.29
９区	伊澤菜々花	②	32.08

第３０回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 (R7.1.19　広島)　７区間

千葉県　２位入賞			2.17.39
１区	阿部　宥人	⑲	20.22
２区	上杉　創亮	⑩	8.41
３区	小澤　大輝	⑯	24.04
４区	松村　達也	㉖	14.55
５区	鈴木　琉胤	②区間新	23.46
６区	中村　碧吹	⑧	8.51
７区	羽生　拓矢	②	37.00

発行　一般財団法人　千葉陸上競技協会

〒 263-0011　千葉市稲毛区天台町 323
千葉県総合スポーツセンター
ちばアクアラインマラソン実行委員会事務局 分室内
TEL：043-252-7311　FAX：043-252-7314
http://www.jaaf-chiba.jp/